

企画総務グループ打合せ（平成 28 年度 第 1 回）議事録

日 時：平成 28 年 6 月 2 日（木） 9：30-11：30
場 所：JGS 会館 3 階小会議室
出席者：峯岸，吉田，石川，渡邊，川原井，真田，永尾，青木(事務局)
欠席者：濱本

→新任者を含め自己紹介を実施。

1. 前回議事録の確認

・平成 28 年度第 4 回企画総務グループ幹事会議事録（2/5） 【別紙－ 1】

→内容確認された。

・平成 28 年度第 5 回運営委員会議事録（4/7） 【別紙－ 2】

→内容確認された。

2. 最近のスケジュール

・平成 28 年度第 1 回運営委員会：平成 28 年 6 月 9 日（木）14：00-17：00

→確認された。

・第 57 回通常総会（本部）：平成 28 年 6 月 8 日（水）

→確認された。

・第 50 回地盤工学研究発表会（本部）：平成 28 年 9 月 13 日（火）～15 日（木）

→確認された

・第 13 回地盤工学会関東支部発表会 Geo-Kanto2016：平成 28 年 10 月 21 日（金）

→確認された

3. 支部長特命事項対応他、運営管理上の報告・協議

（1）平成 28 年度企画総務グループ体制について 【別紙－ 3】

・退任：小峯幹事長，橘副幹事長，高柳幹事
新任：峯岸幹事長，石川副幹事長，渡邊幹事

→確認された。

・企画総務 G 趣意書

→内容確認された。

・年間スケジュール

→内容確認された。

・役割分担（ニュースレターNo.38・39 発行 etc.）

→No. 38 担当については、真田幹事が担当し、巻頭言については峯岸幹事長が執筆することが承認された。

→No. 39 担当については、渡邊幹事が担当し、巻頭言については北詰先生に執筆を依頼することが承認された（第 1 回運営委員会で打診）。

（2）平成 28 年度支部役員体制について 【別紙－ 4】

→千葉県地質調査業協会の評議員については、再度確認することが承認された。

（3）平成 28 年度関東支部総会議事録 【別紙－ 5】

→内容確認された。

（4）第 58 回通常総会ご出席のお願い 【別紙－ 6】

→吉田副幹事長が参加することが承認された。

（5）「第 18 回事業企画賞」決定のお知らせ 【別紙－ 7】

→内容確認された。

（6）「地盤工学会誌」 支部編集委員について 【別紙－ 8】

→渡邊幹事が推薦されたことが確認された。

→今後推薦が予想される学生編集委員については、濱本先生の学生を推薦することが承認された。

- (7) 関東支部ホームページ 【別紙－9】
→各自において、新規 HP と現在の HP の比較検討を行うこととし、問題点等がある場合については、メールにて内容を報告することが承認された。
- (8) 寄附金／外部資金等の内規の検討 【別紙－10】
→HP に掲載する文言については、関西支部を参考に事務所青木様が草案を作成することが承認された。
→内規については、新規作成することを基本とする。峯岸幹事長が草案を作成し、企画総務 G 内にメールにて配信し、運営委員会に提出することが承認された。
- (9) 出前授業依頼：青南小学校 【別紙－11】
→内容確認された。今後依頼連絡があった場合については、内容に応じて出前授業の講師人選（基本は峯岸幹事長が人選）を行うことが承認された。
- (10) 応用地質(株)からの依頼：新・関東の地盤 2014 年版転載許諾願い 【別紙－12】
→内容確認された。
- (11) JGS 世代間交流座談会のご案内 【別紙－13】
→内容確認された。参加人数が少ないため、各幹事において若手の参加を促すことが確認された。
- (12) H28 年度予算執行状況について（4 月末現在） 【別紙－14】
→内容確認された。

4. 開催結果、進捗状況の報告

- (1) 支部総会・特別講演会「選手村等施設整備を中心とした東京 2020 大会の準備状況について」、4/21
参加者：80 名【開催済】
→確認された。
- (2) 「会員サービスグループ「若手技術者交流会」テーマ：「地盤改良に関する調査・施工・開発・研究」，6/30
→確認された。各幹事において若手の参加を促すことが確認された。
- (3) 群馬県グループ「八ッ場ダム現場見学会」7/4（5/20 定員に達したため募集締切）
→確認された。

5. その他

- (1) 退会届
・株式会社ミカミ（4 級）：退会理由 学会を利用する事がないため
→慰留したが、退会することが確認された。
- (2) 次回打合せ：平成 28 年 7 月 日（ ）（前年度は 9 月 3 日の研究発表会で開催）
→次回については、次回運営委員会時期を考慮し、吉田副幹事長から伝助にて日時を決定することが承認された。